

## ゆうちょ銀行VISION

2025年3月期 中間期 (2024年4月1日▶2024年9月30日)

## トップメッセージ

2024年4月にゆうちょ銀行の取締役兼代表執行役社長に就任しました笠間です。株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。私から、当行の今後の取り組みなどについてご説明させていただきます。

株式会社ゆうちょ銀行  
取締役兼代表執行役社長

笠間 貴之



## 非公開金融情報の不適切な利用について

この度、当行の銀行代理業を営む日本郵便株式会社において、事前にお客さまの同意をいただかないまま、お客さまの貯金等の非公開金融情報<sup>\*1</sup>を用いて、保険募集を目的とした来局ご案内を行ったという、法令に違反する事案が判明しました。株主の皆さまにご不安・ご心配をおかけし、深くお詫び申し上げます。

日本郵政グループ全体として、策定した再発防止策を徹底するとともに、お客さま本位のサービス提供に努めてまいります。

## 社長就任のご挨拶

私は、2015年の入社以来、「ゆうちょ銀行らしさ」を追求してまいりました。

今年は、Σ (シグマ) ビジネスの本格始動、日銀の金融政策変更や、世界的な金融緩和による金融環境の変化により、当行の成長ステージは次の段階へと移行しつつあります。そんな中、社長として課されるミッションは広範囲かつ、チャレンジングなものですが、全力で取り組んでいく所存です。

## 2024年度中間期の業績、通期の業績予想および株主還元

2024年度中間期の業績は、親会社株主に帰属する中間純利益2,228億円、当初通期業績予想3,650億円に対する進捗率は61.0%と堅調な推移となりました。

今回の中間決算の状況や直近の市況等を踏まえ、当初予想対比で資金収支等<sup>\*2</sup>が増加する見込みとなったことから、親会社株主に帰属する純利益の通期予想を350億円増の4,000億円に上方修正しました。また、2024年

度の期末配当予想についても、当初予想から4円増配し、1株当たり56円に修正することを決定いたしました。

## 中期経営計画 (中計) の見直しについて

当行は、国内外の金利変動、社会のデジタル化進展等、当行を取りまく経営環境の変化を踏まえ、2024年5月に中計の見直しを行いました。見直し後の中計では、リテールビジネス、マーケットビジネス、Σビジネスという3つのビジネス戦略を成長の核としています。

特に、マーケットビジネスでは、従来、外国証券を中心にリスク性資産の拡大を進めてきましたが、今般の国内金利の上昇トレンドを踏まえ、日本国債への投資を積極的に進めるほか、海外中銀の金融政策の変化を的確に捉えるなど、様々な金融環境に順応し、持続的かつ安定的な収益拡大を目指してまいります。

このように、3つのビジネス戦略を着実に推進し、見直し後の中計で掲げているROE5%以上の早期達成はもちろん、そしてその先のさらなる高みを目指し、持続的な企業価値向上を図ってまいります。

## 株主の皆さまへ

今後も、当行の強みを最大限に活用した「最も身近で信頼される銀行」、「オンリーワンの銀行」を目指し、皆さまのご理解とご支援を賜りながら、企業価値向上と社会課題解決の両立に向けて取り組んでまいります。引き続き、ますますのご支援・ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

※1 お客さま対応等の中で知った、お客さまの金融取引や資産に関する、通常、本人しか知りえない情報 (具体例：口座残高、引落情報、保有ファンドの状況等)

※2 資金運用に係る収益から資金調達に係る費用を除いたもの (売却損益等を含む)

# お客さまの利便性向上に向けたリテールサービスの拡充

## 1. どんどん広がる通帳アプリ、ますます使いやすくなりました

～2026年3月末目標を大幅に前倒し達成～

このたび、「ゆうちょ通帳アプリ」の登録口座数が、当行の中期経営計画（2021年度～2025年度）で目指しておりました1,000万口座を前倒しで突破いたしました。

今後も、お客さまの声を商品・サービスの改善に生かし、さらなる機能拡充と利便性向上に向け取り組んでまいります。



### ■ 利便性向上・機能拡充の取り組み

「ゆうちょ通帳アプリ」は、スマートフォンで、現在高・入出金明細の確認、送金等ができるアプリです。2020年2月よりサービスを開始し、順次機能を追加してまいりました。

#### これまでの追加機能の概要

拡充した主な機能	概要	サービス開始時期
サービス開始	現在高照会、入出金明細照会、グラフで収支確認ができます。	2020年2月
投資信託のお取引	投資信託の残高確認や購入などのお取引ができます。	2022年1月
ご登録情報の変更	住所および電話番号の変更ができます。	
送金（電信振替、振込）	ゆうちょ銀行あて、他金融機関あての送金ができます。	2022年3月
払込書によるお支払い（通常払込み）	各種お支払い方法の拡充をいたしました。	2023年5月
税金・各種お支払い（Pay-easy）		
QRコードによる税公金の納付		
ATMにおける入出金のお取引	ATMに表示されるQRコードを読み取ることで、お取引ができます。	2024年2月
「ことら送金」の対応	「ことら送金」の利用登録をすることで、ご利用いただけます。	

※セキュリティ対策として、送金等の際、「ゆうちょ認証アプリ」を用いて認証することにより、本人確認を実施。

ことら送金とは、株式会社ことらが提供する、「1回あたり最大10万円までの個人あて送金」が手数料無料でご利用いただけるサービスです。口座あて送金のほかに、携帯電話番号やメールアドレスあてに送金が可能です。



## 2. ゆうちょATMから広がる、新たな社会基盤

～ATMデジタルサイネージのSMBCデジタルマーケティングとの協業～

### ■ 背景

当行は、全国に展開する店舗、ATM等の様々な拠点のネットワークを活かした多様な事業者との連携により、社会と地域の発展を実現する「共創プラットフォーム」の構築を目指しております。全国に約31,200台（2024年3月末）のATMを設置展開し、一部ATMの上部に設置したデジタルサイネージを活用した広告ビジネスに取り組んでおり、これまで、地方自治体や公的機関の広告に限定し掲載を実施してまいりました。

今後、ATMのデジタルサイネージでの広告掲載を全国の一般企業向けに拡大・展開するに当たり、銀行メディアの活用をはじめとする多種多様な広告・マーケティングソリューションに強みのあるSMBCデジタルマーケティングが広告販売の支援を行うものです。



### ■ 内容

直営店ATMのデジタルサイネージに掲載する広告について、SMBCデジタルマーケティングが全国の一般企業向けに販売を行います。当行は、広告販売のノウハウを蓄積し、ATMデジタルサイネージを活用した広告ビジネスの拡大に取り組みます。

～地域貢献策の一環として～

### ■ 地域広告を放映

デジタルサイネージを活用した地域貢献策の一環として、地方公共団体等が作成したコンテンツ（静止画・動画）の放映を受け付けております。

#### デジタルサイネージの概要

- ・設置台数：全国2,300台（2024年9月末時点）  
（ゆうちょ銀行直営店902台、店外1,398台）
- ※順次、全国で設置を進めています。
- ・ATM利用者数：1日1台当たり300～400人程度



（千葉市）



（川崎市）

～お客さまに安心してご利用いただくために～

### ■ AI画像分析を活用した特殊詐欺被害防止対策

特殊詐欺の防止対策として、当行ATMコーナーに設置している防犯カメラ等を用いて、リアルタイムでAI（人工知能）画像分析を行っています。ATM前で携帯電話の通話動作を検知した場合は、速やかに下記のような警告画面表示や警告音を発し、ご利用者に対し注意喚起を行います。



（AI画像分析イメージ）



（警告画面表示）

※全国の一部ATMで実施中

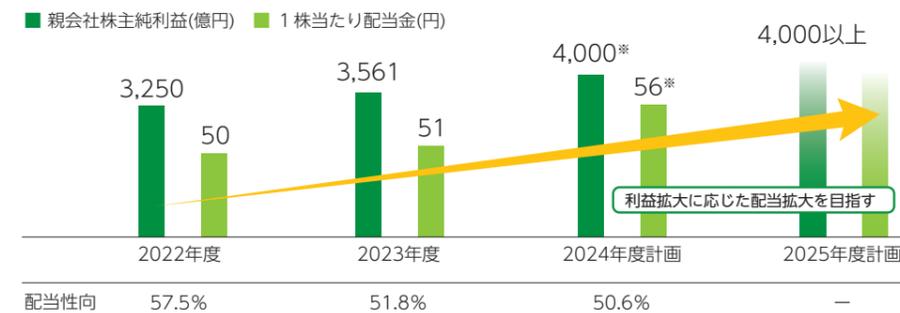
## 配当による株主還元に関する方向性について

2024年5月に公表した「中期経営計画（2021年度～2025年度）の見直し」において、株主還元方針等を公表しました。

### Point

- 企業努力による中長期的な利益の拡大を通じて、株主還元の充実を目指す。
- 財務健全性を確保しつつ、内部留保をリスクテイク原資として活用し、持続的な収益改善・企業価値向上を図る観点から、配当性は50%程度とする方針。

▶ 従来の株主還元方針を維持し、利益拡大に応じた配当拡大を目指す



次期中計の早い時期に5,000億円規模の純利益の達成を目指す

※今回の中間決算の状況や直近の市況等を踏まえ、通期業績予想および配当予想を見直しております。

# 株主還元について

2024年度予想  
1株当たり配当金

52円 期末のみ  
(配当性向予想：51.5%)

→ 56円 期末のみ  
(配当性向予想：50.6%)

2024年5月15日に発表した配当予想52円から上方修正いたしました。

## 中期経営計画における株主還元方針等（抜粋）

- 株主還元・財務健全性・成長投資のバランスを考慮し、中期経営計画期間中（2021年度～2025年度）は、基本的な考え方として、配当性向は50%程度とする方針。
- ただし、配当の安定性・継続性等を踏まえ、配当性向50～60%程度の範囲を目安とし、1株当たり配当金（DPS）は、2024年度の当初配当予想水準からの増加を目指す。
- 当行の運用ポートフォリオの状況を踏まえ、現状では配当の回数は、期末配当の年1回とする方針。

## 決算ハイライト

### 決算の概要

- 親会社株主に帰属する中間純利益は、当初通期業績予想3,650億円に対し、進捗率は61.0%の2,228億円と堅調な推移（金額および比率は、表示単位未満を切り捨てて記載）

### ゆうちょ銀行Webサイト（決算・IRライブラリ）

トップページ ▶ IR情報 ▶ 決算・IRライブラリ

[https://www.jp-bank.japanpost.jp/ir/financial/ir\\_fnc\\_index.html](https://www.jp-bank.japanpost.jp/ir/financial/ir_fnc_index.html)



親会社株主純利益（単位：億円）



ROE（株主資本ベース）（単位：%）



## Webサイトのご案内

ゆうちょ銀行のWebサイトでは、決算・IR関連情報、経営方針、個人投資家向け説明会のご案内、株式情報、サステナビリティ情報などをわかりやすくお伝えしております。ぜひアクセスしてみてください！

### ゆうちょ銀行Webサイト（IR情報）

トップページ ▶ IR情報

[https://www.jp-bank.japanpost.jp/ir/ir\\_index.html](https://www.jp-bank.japanpost.jp/ir/ir_index.html)



### 統合報告書・ディスクロージャー誌

統合報告書・ディスクロージャー誌のほか、トップメッセージや社外取締役メッセージをご覧いただけます。



### IR動画ライブラリ

トップメッセージ動画等、IRに関連する各種動画をご覧いただけます。



### 個人投資家向け説明会

最新の個人投資家向け説明会情報、資料等をご覧いただけます。



### IRニュース/サステナビリティニュース配信サービスにご登録ください！

IRニュース/サステナビリティニュースをメールでお知らせします。メールアドレスをお持ちの方なら、どなたでも無料でご登録いただけます。



## 株式事務・株主優待に関するお問い合わせ先

### 主な手続き、ご照会等の内容

- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 郵送物等の発送と返戻に関するご照会
- 各種証明書の発行に関する手続き
- その他株式事務に関する一般的なお問い合わせ

- 株主優待カタログに関するお問い合わせ
- 商品お申し込み後の発送状況と到着後の商品に関するお問い合わせ

### お問い合わせ先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
☎0120-581-841（フリーダイヤル）  
（受付時間 土・日・祝日・年末年始を除く午前9時～午後5時）

### ゆうちょ銀行

株主優待カタログお客さまセンター  
☎0800-170-1222（フリーダイヤル）  
（受付時間 1月1日～1月3日を除く午前10時～午後5時）  
（受付期間 2024年4月1日～2025年3月31日）

● 住所変更、単元未満株式買取増請求、配当金振込指定などを行う場合の受付窓口は、原則として口座を開設されている証券会社等になります。

## 株式会社 ゆうちょ銀行

〒100-8793 東京都千代田区大手町二丁目3番1号  
大手町プレイスウエストタワー

